

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	08 老人保健(医療費給付)
事務事業名	02	老人医療費給付事業	
根拠法令・規程等	老人保健法		
問	担当課(室)	保健課	
合	職・氏名	保険医療係長・大峠一吉	
先	電話	0869-64-1819	
このシート作成に要した時間			1.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	老人保健医療制度対象者
目的(何のために)	制度終了後の給付漏れに対して適切に医療給付を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	適切な給付事務による事業の完了を目指す。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	医療給付事業	制度対象者の診療等の現物給付に要する費用を支払う事業。	
	医療費支給事業	制度対象者の高額療養費を支給する事業。	
	審査支払事業	診療報酬明細書の審査に係る手数料を国保連合会へ支払う。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
1人当たり費用額	目標値(A)	80000	0	0	0
	実績値(B)	76406	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	95.51%	#DIV/0!	#DIV/0!	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
年間費用額/対象者数 対象者一人当たりにおいて費用額を目標値として設定している。					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標を定める成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成22年度末で特別会計の設置義務がなくなったため、23年度からは一般会計で過年度分の請求に対する医療給付を行うこととした。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		454,129	300	0	
	必要人員(人件費)	千円	0.12人	715	0.01人	78
	事業費計		454,844	376	78	
	国県支出金		490,301	6,029	1	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源						
受益者負担比率	%		-35,457	-5,653	77	
結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績		
対象者数	説明	1人当たり費用額				
結果指標	結果指標量	人	5,953	0	0	
	対前年比	%	-	0.0%		
	活動コスト	円	454,844,000	376,000	78,000	
	単位当たりコスト	円	76,406	#DIV/0!	#DIV/0!	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
請求遅れ等に適切に対応することで給付漏れのないよう適切な給付に努める。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	請求遅れに対応して適切に事業を継続する。					